

2023年1月23日

課題名：非定型的な組織所見を示す自己免疫性膵炎の臨床病理学的検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、EUS-FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引法）で膵炎症性疾患と診断されるも、自己免疫性膵炎として典型的ではなかった患者さんの臨床像、組織所見の特徴について調べています。本研究は、自己免疫性膵炎の病態を解明し、今まで診断できなかった症例の特徴を知り、後のよりよい診療につなげることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

当院で過去に、EUS-FNA が行われて自己免疫性膵炎、あるいは膵炎と診断された方、あるいは手術検体で自己免疫性膵炎と診断された方が対象となります。

◆研究に使用される情報・試料◆

診断時に作製した病理標本を用いて病理所見（リンパ球、形質細胞の浸潤と線維化、IgG4陽性細胞数、IgG4/IgG 陽性細胞比、花筈状線維化、閉塞性静脈炎、小葉構築の残存の有無、膵管炎、動脈周囲炎、炎症細胞浸潤の種類・程度、線維化の形態・程度、リンパ濾胞の形成）を調べます。必要があれば、パラフィンブロックを利用して新たに病理標本を作製することもあります。また、臨床情報の中から、年齢、性別、臨床診断、現病歴、既往歴、合併症、生検後経過（膵炎の再燃の有無、病変の経時的変化、生死）、IgG4 関連疾患の他臓器病変の有無、画像所見（膵腫大の部位、程度、経過）、ERCP 所見（狭細化の有無、部位、程度）、EUS 所見、血液検査データ（CRP、血球数、白血球の分類、肝胆道系酵素、蛋白分画、免疫グロブリン値、IgG4、アミラーゼ、リパーゼ）、ステロイドを含む治療の有無と効果を調べます。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報、残余検体を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

病理診断科 研究責任者 能登原 憲司

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明